

WTW-EHD83YJ

取扱説明書

安全上のご注意

警告

- 煙が出ていたり、変な臭いがあるときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落したり、キャビネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造をした形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないで下さい。交通事故の原因となります。
- 航空機内で使用するとき、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

設置するとき

- 野外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因となります。
- 閉め切った自動車内・ストーブなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を動作させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

A Cアダプターについて

- A Cアダプターの電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。
- A Cアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- A Cアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中の A Cアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーベットのの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で A Cアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外の A Cアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ず A Cアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。
- A Cアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- A Cアダプターの電源はコンセントの奥まで差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーについて

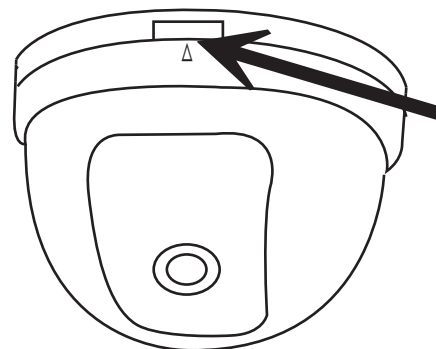
- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かない様にして下さい。電極（＋端子と－端子）に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の誤動作・故障により発生した事故・トラブルに関して弊社及び販売店は一切の責任を負いかねます。

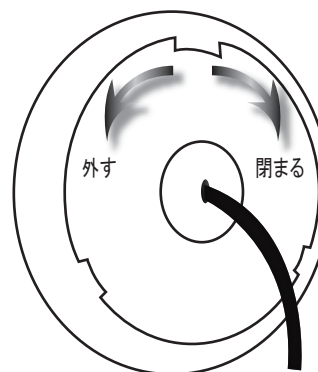
※本製品に該当しない内容も含まれることがあります

カバー取り外し



矢印のボタンを押すとカバーが外れます
レンズのピント調整後ボタンと矢印を
合わせてカバーをして下さい

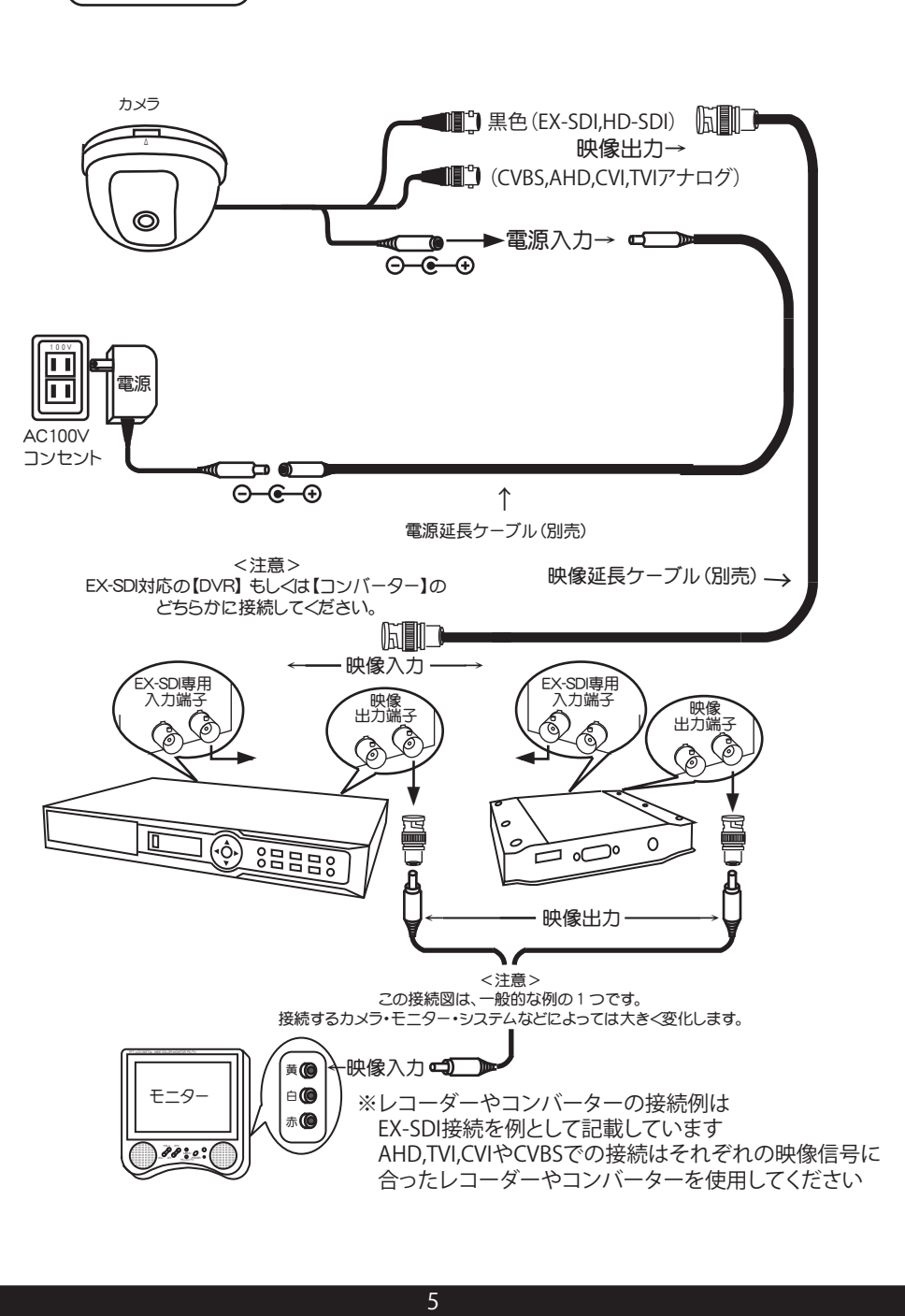
天付け部



カメラのドームカバーを外した後
内部のフックを
手で解除しながら
カバーの黒い部分だけを
反時計回りに
回すとカバーが外れます

閉めるときはカメラ前面に合わせて時計回りに回すと閉まります

基本接続



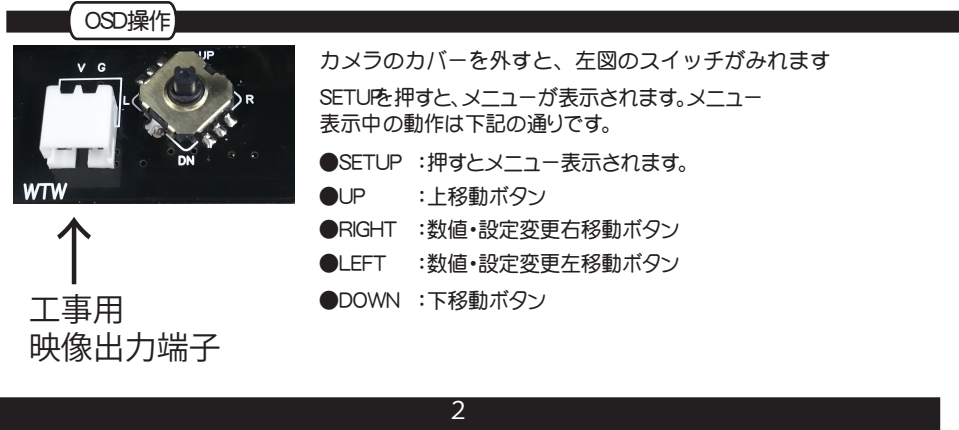
目 次

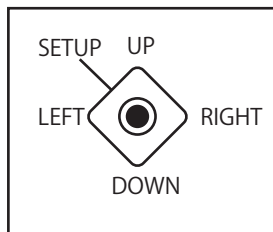
目次	P2
メニュー設定	P3
① レンズ	P3
② 露光	P3
③ 逆光補正	P3
④ デイ & ナイト	P3
⑤ WHITE BAL	P3
⑥ デジタルノイズ除去	P3
⑦ イメージ	P4
⑧ モーション	P4
⑨ システム	P4
接続図	P5

レンズ調整

＜注意＞

- トリマーは緩めすぎると、外れるのご注意ください
締めすぎてもネジ山が潰れますので、レンズが動かない程度で、とめて下さい
- 調整後は必ずカバーをしっかりと締めて下さい





SETU Pジョイスティックを押すと、メニューが表示されます。メニュー表示中のジョイスティックの動作は下記の通りです。

- SETUP : 押すとメニュー表示されます。
- UP : 上移動ボタン
- RIGHT : 数値・設定変更右移動ボタン
- LEFT : 数値・設定変更左移動ボタン
- DOWN : 下移動ボタン

SETU Pジョイスティックを押すと下記のメニューが表示されます
本製品の各設定は下記のメニュー画面で設定して下さい

メニュー	
レンズ	自動光量調整
露光	↓
逆光補正	オフ
デイ&ナイト	外部 ↓
WHITE BAL	↓
デジタルノイズ除去	中
イメージ	↓
モーション	オフ
システム	
終了	↓

EX-SDIからHDSDI切り替え: カメラの電源が入っている状態で
カメラSETUPジョイスティックのボタンを
右→右→右→SETの順で押すと切り替わります
HD-SDIからEX-SDIに切り替えは左→左→左→SETの順で押すと切り替わります

レンズ	本製品は自動光量調整に設定されております。
露光	露光選択中にSETU Pを押すと下記の内容が設定可能になります 明るさ : 明るさの調整ができます シャッタースピード : シャッタースピードの調整ができます デジタルスローシャッター : 高感度モードが使用できます オートゲインコントロール : ゲインの調整ができます
逆光補正	撮影する際に逆光の状態の場合カメラの露出をプラスして 適正な露出となるよう自動的に調節する機能です
デイ&ナイト	本製品はオートで使用してください
WHITE BAL	ホワイトバランスの調整 本製品はオートで使用してください 彩度彩度調整ができます
デジタルノイズ除去	オフ / 高 / 中 / 低 から選択できます 暗い時の映像ノイズを除去します

イメージ	カメラの上下左右反転やプライバシーゾーンなどの設定ができます シャープネス : シャープネス設定ができます ガンマ : ガンマ補正が使用できます ミラー : 左右反転します フリップ : 上下反転します デジタルズーム : デジタルズーム固定ができます (× 16) ACE : 明暗比の調整機能が使えます 曇り除去 : 画面に曇りが生じた場合に除去します シェーディング : 明暗のコントラストの調整ができます プライバシー : プライバシーゾーンが設定できます
------	---

モーション	本製品では使用しません
システム	言語や出力設定などができます 通信 本製品では使用しません OUT PUT : 解像度の変更ができます 400万画素 1440 200万画素 1080 IMAGE RANGE : FULLで使用してください 色空間 : HD-CBCRで使用してください 言語 : JPN日本語に設定されています リセット : 決定ボタンを2秒以上押し込むと設定がリセットされます
終了	メニューを消して通常画面に戻ります

カメラ本体の初期設定は400万画素出力になっています
HD-SDIやAHD,CVI,TVIに変更する場合は
400万画素の表示できるレコーダー等で
解像度設定を1080P(30)以下にする必要があります